

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-169765

(P2002-169765A)

(43) 公開日 平成14年6月14日 (2002.6.14)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
G 0 6 F 13/00	6 5 0	G 0 6 F 13/00	6 5 0 B
	6 3 0		6 3 0 A
17/60	Z E C	17/60	Z E C
	3 1 0		3 1 0 E
	5 1 4		5 1 4

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2001-89764 (P2001-89764)

(22) 出願日 平成13年3月27日 (2001.3.27)

(31) 優先権主張番号 2 0 0 0 - 7 1 5 2 5

(32) 優先日 平成12年11月29日 (2000.11.29)

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(71) 出願人 501123891

白 哲和

大韓民国 京畿道 城南市 盆唐區 番▼
ユン▲洞 漢陽 アパート 306棟 303号

(71) 出願人 501123710

▼ユ▲ 鉉善

大韓民国 ソウル特別市 瑞草區 蠶院洞
韓信 10番アパート 316棟 906号

(72) 発明者 白 哲和

大韓民国 京畿道 城南市 盆唐區 番▼
ユン▲洞 漢陽 アパート 306棟 303号

(74) 代理人 100091096

弁理士 平木 祐輔 (外1名)

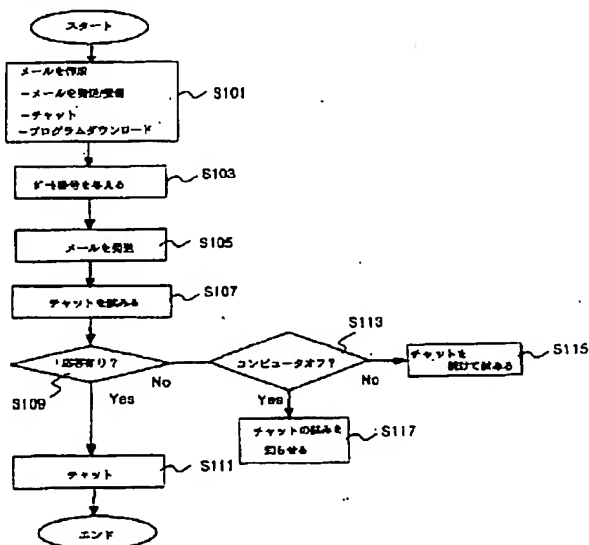
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ポップメールとチャットの同時実行方法及びこれを利用したインターネットショッピングモールにおける製品広報システム及びその方法 (METHOD OF SIMULTANEOUSLY EX

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 メールを受信者が送信者にメールを送信したり、既座でチャットを試みることができるメールとチャットの同時実行方法を提供する。

【解決手段】 ポップ (POP) メールとチャットの同時実行方法は、メール発送者がメールを作成する段階と、CHサーバーからチャットに必要なチャットサーバープログラムを駆動するためのポート番号を与えられる段階と、メールヘッダーに自分のログインID、与えられたポート番号、IPアドレス/ホストネームを記載してメールを送送する段階と、受信者がメールを受信した後、チャットを望んだ場合、チャットボタンを押す段階と、チャット受信者のチャット応答有無を確認する段階と、チャット受信者のチャット応答があった場合、メール送受信者が各自のコンピュータにチャットクライアントプログラムを利用してチャットする段階から成る。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 メール発送者が、ログインID登録と共にメール送受信及びチャットを同時実行するプログラムを利用してメールを作成する段階(S101)と、

ポート番号を附与してログインIDに該当する最も最近のIPアドレス/ホストネームを認識させ、附与したポート番号に該当するチャットサーバープログラムを起動したり、発送した相手方のコンピュータに起動させる、CHサーバーからチャットに必要なチャットサーバープログラムを駆動するためのポート番号を与えられる段階(S103)と、

メールのヘッダーに自分のログインID、与えられたポート番号、IPアドレス/ホストネームを記載してメールを送送する段階(S105)と、

メール送受信及びチャットを同時実行するプログラムを利用して受信者がメールを受信した後、チャットを望んだ場合、チャットボタンを押す段階(S107)と、チャット受信者のチャット応答有無を確認する段階(S109)と、

チャット受信者のチャット応答があった場合、メール送受信者が各自のコンピュータにチャットクライアントプログラムを利用してチャットする段階(S111)からなるポップメールとチャットの同時実行方法。

【請求項 2】 受信者のチャット応答がなかった場合、受信者のコンピュータがオフであるか否かを確認する段階(S113)と、

受信者のコンピュータがオンである場合、チャットを続けて試みる段階(S115)と、

受信者のコンピュータがオフであった場合、CHサーバーが発送者のチャット開始を自動的に知らせる段階(S117)を追加に含むことを特徴とする請求項 1 記載のポップメールとチャットの同時実行方法。

【請求項 3】 インターネットショッピングモール顧客のウェブブラウザ(10)と、

インターネットショッピングモール管理者のウェブブラウザ(20)と、

上記ウェブブラウザ(10、20)に接続されるインターネット接続手段(30)と、上記顧客と管理者の通信のためにウェブブラウザ(10、20)に接続される少なくとも一つ以上のウェブサーバー(40)と、

上記顧客と管理者のメール及び/またはチャットのためのCHサーバー(50)と、

上記CHサーバー(50)内でログインID、最も最近のIPアドレス/ホストネームからなるテーブルを保存している第1データベース(60)と、

上記CHサーバー(50)内でポート番号、CHサーバーのログインIDからなるテーブルを保存している第2データベース(70)と、

上記顧客及び管理者についての個人情報等の資料を保存している会員データベース(80)と、

会員会社が提供する各種広告情報を保存している広告データベース(90)と、

外部の障害からシステムを保護するネットワーク保安システム(100)からなるポップメールとチャットの同時実行方法を利用したインターネットショッピングモールにおける製品広報システム。

【請求項 4】 利用者がインターネットショッピングモールに接続する段階(S201)と、

インターネットショッピングモールに接続した利用者が会員であるか否かを確認する段階(S203)と、

利用者が会員でなかった場合、会員として登録する段階(S205)と、

会員として確認された利用者が製品を選択し、メール送受信及びチャットを同時実行するプログラムを利用し、ショッピングモール管理者にメールを送送する段階(S207)と、

メールを受信した管理者がメール送受信及びチャットを同時実行するプログラムを利用して会員にチャットを要請する段階(S209)と、

会員のチャット応答有無を確認する段階(S211)と、

チャット接続後、管理者と会員がコンピュータのチャットクライアントプログラムを利用してチャットする段階(S213)からなるポップメールとチャットの同時実行方法を利用したインターネットショッピングモールにおける製品広報方法。

【請求項 5】 会員のチャット応答がなかった場合、会員のコンピュータがオフであるか否かを確認する段階(S215)と、

会員のコンピュータがオンである場合チャットを続けて試みる段階(S217)と、会員のコンピュータがオフである場合、管理者のチャット開始を自動的に知らせる段階(S219)を追加に含むことを特徴とする請求項 4 記載のポップメールとチャットの同時実行方法を利用したインターネットショッピングモールにおける製品広報方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ポップメール(POP e-mail; 以下、メールという)とチャットの同時実行方法、及びこれを利用してインターネットショッピングモールを利用する顧客にインターネットショッピングモール管理者が製品の広報をできるようにした製品広報システム及びその方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 通常、メールとチャットは、有線または無線ネットワークシステムを利用して送受信者間のコミュニケーションを可能にするものであり、上記メールとチャットは、手紙と電話のようにオンラインで情報を文書化して送受信し、情報をリアルタイムに共有するという差異点があり、異なる方式で運営されている。

【0003】 具体的には、AOL、ICQ等のプログラムを利

用するメール送受信システムは、メール利用時、メールのヘッダー(header)に特別な情報を挿入せず、単に送受信者に各自のアドレスのみを要求することで、メールの送受信を可能にし、チャットのためには別途のチャットグループに参加するようにしていた。

【0004】従って、相違する概念で運営されるメールとチャットを同時に実行するという事は非常に困難な問題であって、このような理由から近來活発に行われているサイバershoppingにおいて、メール及びチャットの役割は非常に限定されざるを得ない状況である。

【0005】言い換えれば、サイバershoppingでインターネットショッピングモールを利用する顧客は、インターネットショッピングモール管理者が提示する製品の情報を取得し、管理者にそれに関してメールまたは電話等を利用して問い合わせると、メールを確認した管理者はこれに対しメールまたは電話等を利用して返信する方式で運営されていた。

【0006】しかし、上記の方式で運営されるサイバershoppingは、顧客が製品に対する情報を取得するのに時間がかかり、管理者と連絡が取れなかった場合、製品の購買をあきらめることもあり、管理者の立場から見れば、製品に対する顧客の呼応度をその後のアンケート等を通じてのみ確認することができたというような問題があった。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記従来技術の問題点を解決するために案出されたものであって、本発明の目的は、メールの受信者が送信者にメールを送送したり、または即座でチャットを試みることができるようにしたメールとチャットの同時実行方法を提供するものである。

【0008】本発明の他の目的は、インターネットショッピングモール管理者が上記メールとチャットの同時実行方法を利用して、製品の広報のための広告メールをインターネットショッピングモール顧客に送送し、顧客が即座でチャットを通じてインターネットショッピングモール管理者と通信することにより、顧客は製品に対する正確な情報を取得できるようにし、管理者は製品に対する呼応度を即座で確認することができるようにした製品広報システムを提供するものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記本発明の目的を達成するために、本発明によるメールとチャットの同時実行は、送受信者間のウェブブラウザと、送受信者ウェブブラウザに接続されるインターネット接続手段と、上記送受信者間のメール送受信を可能にするメールサーバーと、メールとチャットを同時に実行できるようにしたCHサーバーからなるシステム下で行われる。

【0010】上記本発明の目的を達成するために、本発明によるメールとチャットの同時実行方法に用いられる

プログラム(以下、CH(chat)メールという)は、以下の様な機能を遂行する。

【0011】・一般的なメールの送受信

・メールのヘッダーに送受信者区別のための追加項目を挿入

・チャットボタンの存在

この際、上記メールのヘッダーには、CHサーバーのログインIDと、メール送送者コンピュータのIPアドレス/ホストネーム(hostname)、ポート番号の項目が追加され、CHサーバーはログインID、IPアドレス/ホストネームからなるテーブルを記憶している第1データベースと、ポート番号、CHサーバーのログインIDからなるテーブルを記憶している第2データベースを含んでいる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明によってメールとチャットの同時実行方法に関する好ましい実施例を図面を参照して詳細に説明する。

【0013】図1は、本発明によるメールとチャットの同時実行方法を示すフローチャートである。

【0014】図示されている通り、本発明のメールとチャットの同時実行法は、CHメールをログインし、メールを作成する段階(S101)と、ポート番号を与えられる段階(S103)と、メールを送送する段階(S105)と、受信者が送送者とチャットを試みる段階(S107)と、チャット受信者の応答有無を確認する段階(S109)と、送受信者が各自のコンピュータにチャットクライアントプログラムを利用してチャットする段階(S111)と、受信者のチャット応答がなかった場合、受信者コンピュータのon/off状態を確認する段階(S113)と、チャット受信者のコンピュータがオンである場合、チャットを続けて試みる段階(S115)と、受信者のコンピュータがオフである場合、CHサーバーが送送者のチャット試みを自動的に知らせる段階(S117)から成る。

【0015】本発明によるメールとチャットの同時実行において、上記受信者が送送者のメールを確認した後、受信者が送送者にチャットではないメールを送送することも可能である。

【0016】以下に上記各段階における作用をより詳しく説明する。

【0017】まず、CHサーバーにログインID登録と共にプログラム(CHメール)をダウンロードした後、CHメールを駆動すれば、CHサーバーに自動的に自分のログインIDとコンピュータのIPアドレス/ホストネームが登録され、CHサーバーの第1データベースが形成される。CHメールを駆動する毎にCHサーバーに自動的に該当ログインIDのIPアドレス/ホストネームがアップデートされる。この時、ログインIDのIPアドレス/ホストネームが変更された場合、CHサーバーの第1データベースのIPアドレス/ホストネーム部分がアップデートされる。結局、第1データベースは、ログインIDが使用するコンピュータの

最も最近のIPアドレス/ホストネームを保存していることになる。

【0018】また、CHメールにおいて、メールを送る前にCHサーバーに自分のログインIDを送って、CHサーバーからチャットに必要なチャットサーバープログラムを駆動するためのポート番号が与えられる。この時、CHサーバーの第2データベースが形成される。結局、ポート番号のみで相手側の最も最近のIPアドレス/ホストネームが分かることになる。

【0019】次いで、發送メールのヘッダーに自分のログインID、与えられたポート番号、IPアドレス/ホストネームを記載してメールを發送する。メールを受信した受信者が、チャットを望む場合、チャットボタンを押す。この時、CHメールはメールのヘッダーからポート番号とログインIDをCHサーバーに送って該当ポート番号のチャットサーバープログラムを起動させ、メールをやり取りしている両側にチャットクライアントプログラムを自動的に起動させる。この時、チャットクライアントプログラムが自動的に起動できるのは、CHメールをログインすると、CHサーバーに常に接続された状態になるためであって、このためメール送受信子間のチャットが可能になる。

【0020】また、メール受信者間のチャットの際、メール發送者が現場にいない場合に備えて、チャットクライアントプログラムを自動的に起動する際、アラーム音を出す方法等でチャット開始を知らせる。

【0021】一方、上記チャットにおいて、CHサーバーの干渉をできるだけ減らすため、上記第1及び第2データベースを同時に検索し、IPアドレス/ホストネームが接近可能なアドレスであった場合、メールを發送した相手側のコンピュータにチャットサーバープログラムを起動するように指示し、また自分のチャットクライアントプログラムを起動すると同時に相手側チャットクライアントプログラムを起動させる。この場合、CHサーバーがチャットサーバープログラムを起動させる必要がなくなるため、メール送受信者間のチャットにおけるCHサーバーの干渉を減少させることができる。

【0022】以上の通り、CHサーバーの役割を整理すると、ポート番号を附与し、ログインIDに該当する最も最近のIPアドレス/ホストネームを認識させ、附与したポート番号に該当するチャットサーバープログラムをCHサーバーに起動したり、發送した相手側のコンピュータに起動させる。また、メール送受信者の両側にチャットクライアントプログラムを起動させる。

【0023】上記本発明によるメールとチャットの同時実行方法において、送受信者間のコミュニケーションは、各自の個人コンピュータを利用した例を示したが、本発明はこれに限定されず、音声または画像通話を利用したメールとチャットの同時実行も可能である。

【0024】次に、本発明のメールとチャットの同時実

行方法を利用してインターネットショッピングモールの管理者が製品の広報のためのメールをインターネットショッピングモール顧客に發送し、顧客が即座でチャットを通じてインターネットショッピングモールの管理者と通信できるようにした製品広報システムについて記述する。

【0025】本発明によるメール受信顧客とインターネットショッピングモール管理者のチャットを通じた製品広報システムは：インターネットショッピングモール顧客のウェブブラウザ(10)；インターネットショッピングモール管理者のウェブブラウザ(20)

上記ウェブブラウザ(10, 20)に接続されるインターネット接続手段(30)；上記顧客と管理者の通信のためにウェブブラウザ(10, 20)に接続される少なくとも一つ以上のウェブサーバー(40)；上記顧客と管理者のメール及び/またはチャットのためのCHサーバー(50)；上記CHサーバー(50)内でログインID、最も最近のIPアドレス/ホストネームからなるテーブルを保存している第1データベース(60)；上記CHサーバー(50)内でポート番号、CHサーバーのログインIDからなるテーブルを保存している第2データベース(70)；上記顧客及び管理者についての個人情報等の資料を保存している会員データベース(80)；会員会社が提供する各種広告情報を保存している広告データベース(90)；また、外部の障害からシステムを保護するネットワーク保安システム(100)；からなる。

【0026】上記構成によって、メールとチャットの同時実行方法を利用してインターネットショッピングモール管理者が会員に製品を広報する方法は：利用者がインターネットショッピングモールに接続する段階(S201)；インターネットショッピングモールに接続した利用者が会員であるか否かを確認する段階(S203)；利用者が会員ではない場合、会員として登録する段階(S205)；会員として確認された利用者が製品を選択し、メール送受信及びチャットを同時実行するプログラムを利用してショッピングモール管理者にメールを發送する段階(S207)；メールを受信した管理者がメール送受信及びチャットを同時実行するプログラムを利用して会員にチャットを要請する段階(S209)；会員のチャット応答有無を確認する段階(S211)と、チャット接続後、管理者と会員がコンピュータのチャットクライアントプログラムを利用してチャットする段階(S213)；会員のチャット応答がなかった場合、会員のコンピュータがオフであるか否かを確認する段階(S215)

会員のコンピュータがオンである場合、チャットを続けて試みる段階(S217)；会員のコンピュータがオフである場合、管理者のチャット開始を自動的に知らせる段階(S219)；からなる。

【0027】この際、上記会員は、ショッピングモールで提供するメール/チャット同時実行可能なプログラムをダウンロードして使用すると仮定する。

【0028】以上、インターネットショッピングモールを利用する顧客が製品を選択してショッピングモール管理者とメール及びチャットを通じて通信する方法について記述したところ、インターネットショッピングモールの管理者が製品広報のためのメールをインターネットショッピングモール顧客に発送し、顧客が即座でメール/チャットプログラムを利用して両者が通信する方法は、上記と同一の過程で行われる。

【0029】以下、本発明によってメールとチャットの同時実行方法を利用して、インターネットショッピングモールの管理者が製品の広報のためのメールをインターネットショッピングモール顧客に発送し、顧客が即座でチャットを通じてインターネットショッピングモール管理者と通信するようにしたシステムの好ましい実施例を図面を参照して詳細に説明する。

【0030】図2は、本発明による製品広報システムのブロック構成図であって、本発明のシステムは、インターネットショッピングモール顧客のウェブブラウザ(10)と、インターネットショッピングモール管理者のウェブブラウザ(20)と、上記ウェブブラウザ(10、20)に接続されるインターネット接続手段(30)と、ウェブサーバー(40)と、メール及び/またはチャットのためのCHサーバー(50)と、上記CHサーバー(50)内の第1データベース(60)及び第2データベース(70)と、会員データベース(80)と、広告データベース(90)と、外部の障害からシステムを保護するネットワーク保安システム(100)からなる。

【0031】上記ウェブブラウザ(10、20)は、広告等特定データを所定の様式でディスプレイし、上記インターネット接続手段(30)は、利用者個人コンピュータのウェブブラウザ(10、20)とインターネット網を接続する制御手段として、モデム、専用線等のオンライン手段と携帯電話、ノートブックパソコン等の無線手段等を含む。

【0032】上記ウェブサーバー(40)は、会員から使用者識別情報が入力された場合、会員データベース(80)から使用者情報が伝送されて会員確認をし、上記広告データベース(90)から情報が伝送されて顧客のウェブブラウザ(10)に電送するものであって、接続者数によってウェブサーバー増設の追加が可能である。

【0033】上記CHサーバー(50)は、顧客と管理者のメール及び/またはチャットのためのサーバーであり、ポート番号を附与し、ログインIDに該当する最も最近のIPアドレス/ホストネームを認識させ、附与したポート番号に該当するチャットサーバープログラムをCHサーバーに起動したり、発送した相手方のコンピュータに起動させる。また、メール送受信者の両側にチャットクライアントプログラムを起動させる機能を実行する。

【0034】上記第1データベース(60)は、上記CHサーバー(50)内でログインID、最も最近のIPアドレス/ホストネームからなるテーブルを保存しており、第2データベース(70)は、上記CHサーバー(50)内でポート番号、CH

サーバーのログインIDからなるテーブルを保存している。

【0035】上記会員データベース(80)は、加入会員についての個人情報、インターネットショッピングモール利用内訳等の資料を保存しており、会員加入に制約のないオープンタイプである。

【0036】上記広告データベース(90)は、会員会社が提供する各種広告情報を保存しており、これを利用者の個人コンピュータ上にディスプレイするように支援する。

【0037】ネットワーク保安システム(100)は、外部の障害からシステムを保護する一方、会員データベース(80)に保存されている会員の個人情報が外部に流出することを防止する。

【0038】以下、上記のような構成を有するシステムによって製品の広報を実行する方法について、図3を参照して説明する。

【0039】図3は本発明による製品広報方法を示すフローチャートである。

【0040】まず、使用者はモデム、専用線等のオンライン手段または携帯電話、ノートブックパソコン等の無線手段として代表されるインターネット接続手段(30)を通じてインターネットに接続した後、ウェブサーバー(40)を通じて本システムのインターネットショッピングモールに接続し(S201)、会員であるか否かの確認を受ける(S203)。万一、接続した利用者が会員でなかった場合、利用者は会員加入手続によって会員に加入する(S205)。

【0041】次いで、会員であることが確認された利用者は、製品を選択した後、製品についての問い合わせを行いたい場合、ショッピングモール管理者にメールを送信し(S207)、メールを受信した管理者は会員にチャットを要請し(S209)、会員のチャット応答有無を確認し(S211)、応答があれば管理者と会員がチャットする(S213)。この時、会員のチャット応答がなかった場合、会員コンピュータのon/offを確認して(S215)、会員コンピュータがオンであった場合、チャットを続けて試み(S217)、会員のコンピュータがオフであった場合は、管理者のチャット試みをアラームのような方法で自動的に知らせる(S219)。

【0042】勿論、本発明によるこのメール送受信及びチャット方法では、一般的なメールを通じて管理者と会員が通信することも可能である。

【0043】上記本発明によるシステムで提供する多様なサービスは、インターネットショッピングモール運営者の体系的なデータ管理により円滑に維持することができ、上記各種サービスを通じて会員間の情報共有は勿論、会員に製品に対する詳細な情報を提供できるようにする。

【0044】

【発明の効果】本発明によると、メール受信者が発送者

にメールを送信したり、または即座でチャットができるようにしたメールとチャットの同時実行方法を提示することによって、メール送受信者間の情報をリアルタイムで共有することが可能である。

【0045】また、本発明によると、インターネットショッピングモール管理者が上記メールとチャットの同時実行方法を利用して顧客に製品を広報することによって、顧客は製品に対する正確な情報を取得できるようになり、管理者は製品に対する応答度を即座に確認できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるメールとチャットの同時実行方法を示すフローチャート。

【図2】本発明による製品広報システムのブロック構成

図。

【図3】本発明による製品広報方法を示すフローチャート。

【符号の説明】

10, 20 ウェブブラウザ

30 インターネット接続手段

40 ウェブサーバー

50 CHサーバー

60 第1データベース

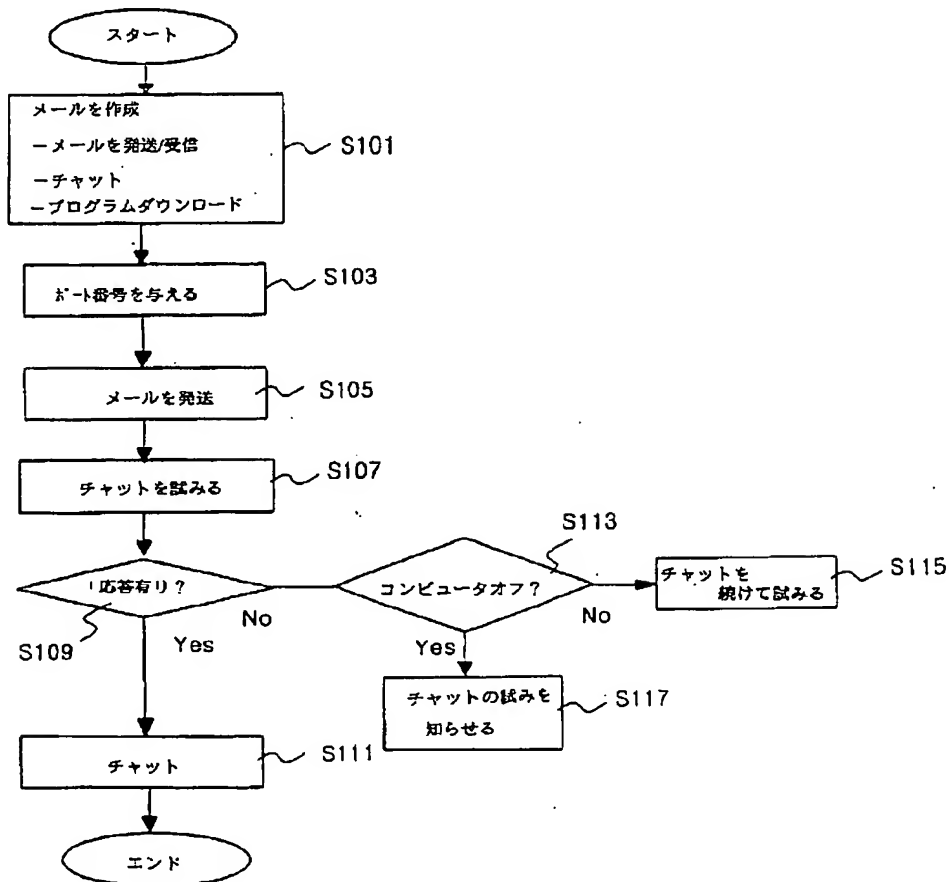
70 第2データベース

80 会員データベース

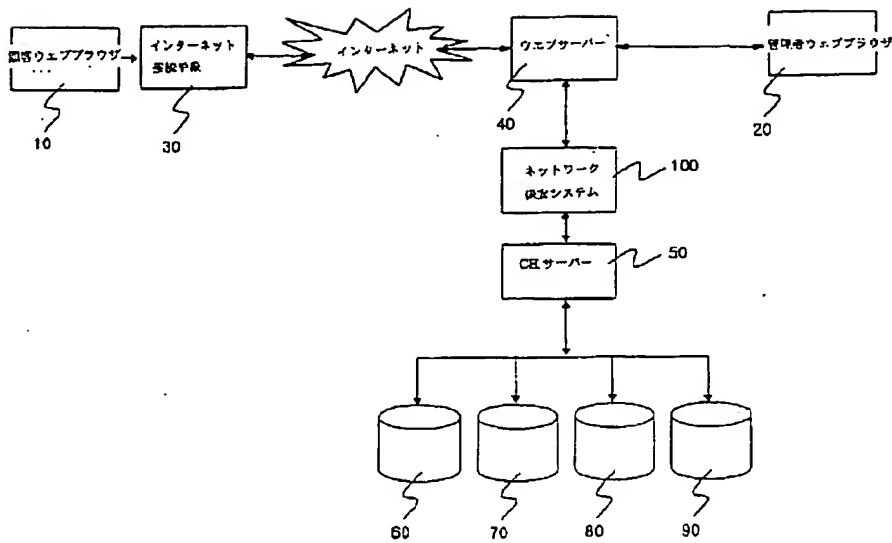
90 広告データベース

100 ネットワーク保安システム

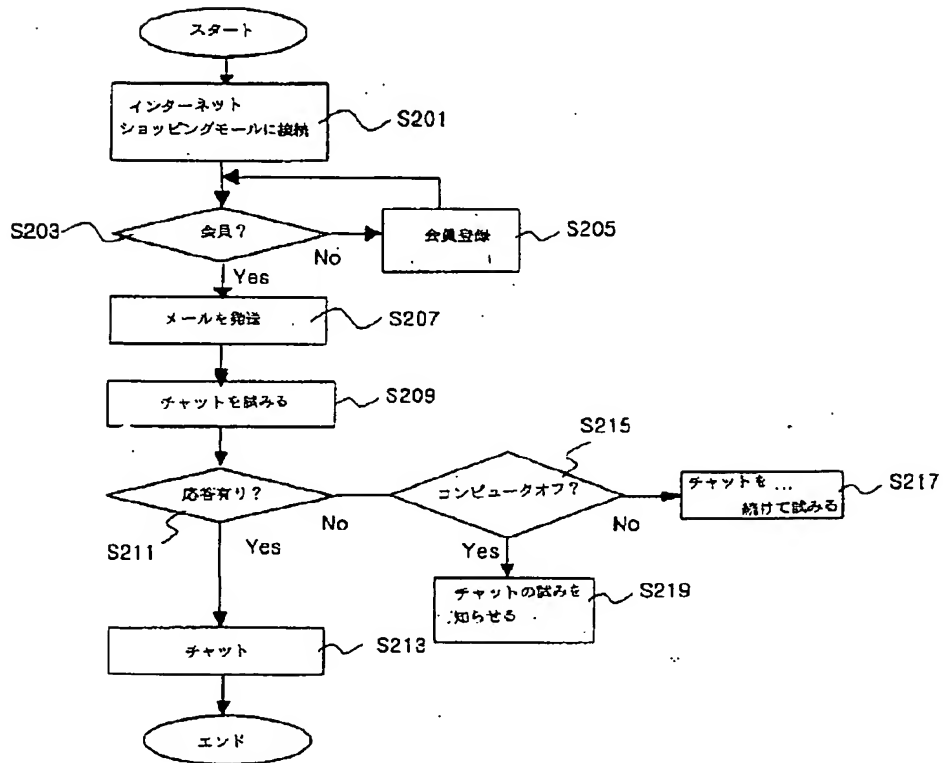
【図1】



【図 2】



【図 3】



フロントページの続き

(72) 発明者 ▼ユ▲ 鉉善

大韓民國 ソウル特別市 瑞草區 露院洞
韓信 10番アパート 316棟 906号

(54) 【発明の名称】 ポップメールとチャットの同時実行方法及びこれを利用したインターネットショッピングモールにおける製品広報システム及びその方法 (METHOD OF SIMULTANEOUSLY EXECUTING POP-MAIL AND CHATTING, AND GOODS PUBLICITY SYSTEM AND GOODS PUBLICITY METHOD THEREBY IN INTERNET SHOPPING MALL)